

# 先進地事例調査研究

## 総務文教委員会

委員長 網谷 芳孝

平成29年11月8～10日

奈良県生駒市 11月8日

### 【耕作放棄地の解消について】

高齢化などの理由で耕作が難しくなった農地を、所有者から市を経由し市民に斡旋をする形で使用賃貸契約を結びことで、遊休農地の発生の防止と解消に取り組んでいる。継続して制度利用を望む者が多く、市の農政にしっかり定着しており、本市の農業従事者も高齢化が進んでいることから、参者にすべきと感じた。

大阪府交野市 11月9日

### 【グローバルコミュニケーション能力向上支援事業について】

JET(語学指導を行う外国青年招致事業)プログラムを活用してALT(外国語指導助手)5名を受け入れている。ゲームなどを取り入れた、楽しく英語に接しやすい指導方法で、小学校低学年からネイティブの英語に触れる活動を行っている。



交野市

大阪府守口市 11月9日

### 【ICT教育について】

より魅力的な授業で学力向上を図るため、平成21年度から学校ICT環境整備事業を活用し、教育環境の充実に取り組んでいる。平成22年度には「地域雇用創造ICT絆プロジェクト(教育情報化事業)」に2小学校が採択され、4～6年生の全児童と担任に1人一台のタブレットパソコンと無線LAN環境を整備し、思考力・表現力の向上を目指している。

大阪府岸和田市 11月10日

### 【新福祉センター整備事業に於ける総合計画の連係について】

市の中心部の高齢者関連施設の建替えに合わせて、市内に分散している障害者支援施設や児童福祉施設の機能を、複合施設として「都市中枢ゾーン」内に移転整備し、人が集まる都市の拠点づくりをしている。また、多くの施設が整備後30年以上経過しており、人口減少とともに施設の維持管理が課題となっているため、「岸和田市公共施設等総合管理計画」を策定し、適切な整備と維持管理の両立ができるよう目指している。

## 生活環境委員会

委員長 田中 実穂

平成29年11月15～17日

東京都江東区 11月15日

### 【産後ケア事業について】

江東区は近年人口が年約1万人程度増加しており、小学校の建設が追いつかない状況にある。出生数の増加と核家族化が進むなか、平成28年6月から宿泊型、日帰り型、乳房ケアの3種類の事業を開始し、家族の支援を受けにくい方を中心に好評を得ている。また、「ゆりかご面接」も同年4月から実施しており、産後の支援の必要性の判断や保健師との信頼関係の構築に有効で、産後の虐待のリスクを減らすのに役立つ。どの事業も子育て支援の充実が図られると感じた。



江東区城東南部保健相談所

群馬県前橋市 11月16日

### 【空家等対策の取り組みについて】

平成27年6月に「前橋市空家等対策の推進及び空家等の活用の促進に関する条例」を定めた。事業

者と市民の責務や所有者への助言・指導、所有者不明の空き家等に係る緊急応急措置などを定めた特色のある条例で、実際に勧告、命令、略式代執行の事例もある。また、空き家等活用センターを設置し、利活用を推進している。更に売買、賃貸の要望に対応するネットワーク事業も実施。三つの補助制度を設け、利活用解体等の促進に繋がっている事が伺えた。

千葉県白井市 11月17日

### 【一人暮らし高齢者等見守り事業について】

地域力を総動員し高齢者の暮らしを支える体制を作ること为目标に、「高齢者のふだんの見守り」会議を開催。現在では124の事業者、75の各種団体、82の関係機関が連携会議に賛同して、日頃の業務の中で高齢者の見回り活動に取り組んでいる。本市が目指す今後の地域包括ケアシステム構築に繋がるもので、在宅高齢者を地域で見守る体制の確立に向けての手法として、手順や制度のノウハウを参考に、大竹バージョン「見守り事業」の導入に向けて取り組む必要があると感じた。